錦城高校新聞

題字 井口 文章

再刊 第３７１号

印刷・発行

錦城高等学校新聞委員会
編集室 2021

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：錦城祭の様子をまとめてお届け！
実行委員長が錦城祭を振り返る
二面：錦城祭グラフィティ！
みなさん2日間お疲れさまでした!!

新たに紡いだ思い出の2日間

錦城祭をまとめて振り返る

9月11日(土)、12日(日)に錦城祭が開催された。新型コロナウイルス感染拡大防止により昨年度は開催されなかったため、今年は2年ぶりの開催となる。今号では、錦城祭で行われた企画の様子をお届けする。（編集部共同取材）

門飾係と美術部が制作した門がお出迎え

脱出のカギを見つけ出せ

1Aの企画は『NOT ME ～鏡からの脱出～』という男女逆転型の謎解き脱出ゲームだ。最初に映像を視聴し、「謎」が出題される。その後教室内にいる男装、女装をした1Aの生徒が「謎」を解くカギになっている問題を出題。問題は教室内の5か所で計10問出題され、自力で問題が解けない場合、1Aの生徒がヒントを出して誘導してくれる。謎を解いた後、続きの映像を視聴し脱出完了となる。

この企画に参加したAさんは「最初の方の問題はスラスラ解けましたが、最後のほうは自力で問題が解けず、ヒントをもらってばかりだったので悔しかったです」と話す。また、Bさんは「謎解きの問題だけでなく、ストーリーも面白かったです」と満足した様子であった。

白い部屋を自由に彩る

2Mの企画は『白い空間』。その名の通り、2Mの教室は一面に白い模造紙が貼られており、その白い空間を来場者が水鉄砲や霧吹き、筆、シャボン玉などを用いて、自由に彩る企画だ。また、名前を折り紙に書いて窓側の模造紙に貼るための折り紙も用意されていた。教室内の模造紙は1日目と2日目で一部貼り換えられ、2日間とも楽しめる仕様になっている。自分の描いた絵と共に写真を撮ることも可能なため、写真を撮っている生徒の姿も多く見られる。2M内は、企画を楽しむたくさんの生徒の賑やかな声が響き渡っており、盛り上がっていた。

壁や床をカラフルに彩った

この企画に参加したCさんは「様々な道具を用いて、教室内をペイントできて楽しかったです」と話す。またDさんは「ストレス発散ができてよかったです」と語った。

カジノを楽しみ景品獲得

3Bの企画である『PON』は様々な種類のカードゲームやジェンガなどで獲得したコインを使い、景品を交換するカジノ企画となっている。

実際にゲームをプレイしてみると、少し難しかったこともあり、頭を使うゲームが多く、1ゲーム1ゲームがとても濃密なものとなっていた。

ほかにも参加していたEさん、Fさんにも話を聞いてみた。Eさんは錦城祭におけるカジノ企画を全部遊んでみたいと思って参加したそうだ。感想について「難しいゲームがあったけど、とても楽しかったです」と笑顔で語った。Fさんはもともとトランプゲームが大好きで、その他にもたくさんのゲームが企画されていたことがきっかけで参加したという。「コインを交換して景品をもらうシステムが魅力的に感じられました。そして店員さんがとても明るく接客してくれて元気をもらえました」と満足そうに話した。

多彩な音色で魅了

今回の吹奏楽部の公演は感染防止のため、2グループに分かれて行われた。一方のグループの演奏中はもう一方のグループが手拍子をしたり体を左右に揺らしたりしながらリズムに乗って、会場を沸かせる。また、ベースやドラム担当の生徒は、マスクを着けたまま演奏した。

会場は一体となり盛り上がった

1グループ目が演奏する最初の曲は『全力少年』。軽快なリズムで演奏された後、司会の2人から曲の説明があった。続いて2曲目の『ありがとう』はゆっくりとしたテンポで始まり、サビでは各楽器が綺麗なハーモニーを奏でた。4曲目は映画『君に届け』の主題歌であるflumpool の『君に届け』。この曲からは2グループ目の演奏に移る。グループが移動している間は司会の2人が『君に届け』にちなみ、笑いを交えた恋愛の話をしている会場を和ませていた。6曲目の『タマシイレボリューション』では、迫力のある演奏で観客を魅了。この日最高の盛り上がりを見せ、公演は幕を閉じた。終了後、観客の一人に感想を聞くと「演奏曲がどれも有名なもので、とにかく楽しむことができました。工夫もされていて良かったです」と満足気に語った。

弾き語りで観客を虜に

ギター同好会の発表はホールで行われた。いくつかのグループに分かれてそれぞれ数曲ずつ披露する形式で、ギター同好会に所属する生徒だけではなく、芦澤貴央先生と神谷洋行先生も自身の弾き語りを披露した。各グループの披露するギターの音色と伸びやかな歌声を、観客は静かに聴き入る。曲の合間に合いの手を入れる場面もあり、曲終わりには演奏者に惜しみない拍手が贈られた。観客の1人に感想を聞くと「私はギターを弾いたことがないので弾く難しさは分かりませんが、パートを分けたり手元を見ずに弾いたりする様子から練習量が伺えました。素敵な演奏で、さすがギター同好会だと思いました」と話した。

青春響かすLIVE

第2体育館にて行われた軽音楽部のライブ。12組ものバンドがそれぞれの特技を生かして演奏を披露する。感染対策のため観客席は個別に区切られ、声出しも禁止で行われた。アーティスト側も昨年のミニフェスではヴォーカルとドラムを除いてマスクを着用していたが、今年は全員がマスクを着用。演奏は終始盛り上がりを見せ、観客も腕を振ったり手拍子をしたりして会場は一体となっていた。観客の1人に感想を聞いたところ「初めてライブに来ましたが、迫力がものすごく伝わってきました。聞いていくうちにテンションが上がりました」と興奮気味に語った。

2年ぶりの錦城祭、委員長の評価は

錦城祭が終わり、校内が落ち着きを取り戻し始める中、錦城祭実行委員長の長屋碧さん（2C）に話を聞いた。

錦城祭を振り返る

今年の錦城祭の総評について長屋さんは「新型コロナウイルスの影響で保護者や他校に通う知人などが来場することができないという制限された状況の中、生徒たち1人ひとりが楽しんで盛り上がり、とても輝いていたと思います」と語った。コロナ対策について「各階のベンチや階段の手すり、エレベーターの消毒、左側通行の呼びかけなどを行ってきました」と話す。また、今年は異装リボンを付けていない、服装に違反があるなどの目立った違反がいくつかあったという。本部の活動としては、企画団体と共にホール、体育館の消毒やイベントの開始時間のアナウンス、チケットの回収が主であった。そして、企画に合わせて1メートル間隔にコーンを配置することや、ラバーバンドの交換や落とし物管理なども本部で行ったそうだ。来年に向け、長屋さんは「コロナの状況が来年どのような形になるか分かりませんが、その都度準備を整えて、皆さん一緒に楽しみましょう」と錦城生に向けてメッセージを送った。（桂）

「とても盛り上がった錦城祭だったと思います」

裏舞台でも青春輝く

前日準備から当日にかけて本部委員が着用していたTシャツについて、本部Tシャツ係の中川栞さん（2M）と中路十和野さん（1A）に取材した。今年のTシャツのデザインについて中路さんは「今年のテーマである『青春煌煌』にちなんで、アオハルらしさを出そうと思い、青色をメインに使いました」と話す。また、これまで歴代のTシャツ係が作ってきたものの雰囲気を残すことも意識したという。Tシャツに込めた思いについて中路さんは「昨年は今年みたいにできなかったと聞いたので、今年は錦城祭らしく出来たらという思いと、裏方のイメージがある本部委員も輝けるようにという思いを込めました」語る。また、今年は1年生が中心となって作り、2年生が注文の手続きをするなど、分担して制作に取り組んでいたそうだ。中川さんは「注文することをはじめ、経験したことのない事が多かったですが、業者の方が優しく相談に乗ってくださって、無事に係の仕事を終えることができて良かったです。いい経験になりました」と話した。（抹）

今年の錦城祭で使われた本部Tシャツ

錦城祭を彩ったフォトスポット企画

今年の錦城祭で、フォトスポットを提供したクラスがあったのをご存じですか。高校の花形行事ともいえる文化祭を思い出に残したい生徒は多かったと思います。ということで、インスタ映えするフォトスポットのあった、3Cと2Gをご紹介します!

２Gのフォトスポットの１つ

まずは3Cの『Fortune-telling hall』!ここでは月に座っているような写真を撮ることができました。写真は、受付でもらった同じ色・番号の紙を付けた人を探し、その人を見つけたらそのペアで撮ることができますが、撮りたい人と写真をとることのみも可能です。また、撮った写真は後に3Cの生徒から受け取る仕組みになっていました。さらに黒板前に立つと体から羽が生えているように見える写真を撮ることもでき、多くの錦城生でにぎわっていました。次は2Gの『青春実行委員』!ここでは月に座っているような写真と、所定の位置に立つと数式が完成する写真(右上の写真参照)を撮ることができました。撮りたい人と自由に写真を撮ることができるので、風船などの小道具を使っておしゃれに写真を撮影する生徒も。また、撮影を待っている人のために2Gの魅力が詰まった映像が流れていました。

錦城祭の思い出を写真に残すことができる『青春煌煌』にぴったりなフォトスポットの紹介でした。来年度の錦城祭にも期待したいですね!（烏）

むらさき草

『ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～』という漫画がある。ブラック企業で働いていた主人公が、ゾンビが発生したことで仕事に行かなくてよくなり、自分のやりたいことをやって人生を謳歌するという話だ。主人公は仕事というストレスから解放されて生き生きとしていたが、ストレスを感じ続けるとどうなるのだろうか▼ストレスの高い生活を送っている人は、若い人でも物忘れや脳の委縮がおこるという研究が2018年10月24日に米国医学雑誌『ニューロロジー』にて発表された。続けていると睡眠障害や記憶力、身体能力の低下が起こるという▼国立成育医療研究センターがコロナ禍での問題を早期発見するために行った「コロナ×子どもアンケート」の第4回調査報告が2021年2月10日に発表された。これは感染流行第3波となった11月から12月にかけて行われた。過去1週間で「気分が落ち込む」などの9項目をどの程度の頻度で感じたかを点数化し、うつ症状の重症度を評価する「PHQ―9」を使用。全国の高校生344人を対象にした結果として、30％以上がこの評価方法で中程度以上のうつ症状があることがわかった。小学4～6年生は15％、中学生は24％で高校生の割合が1番多かった。さらに0歳児から高校生の保護者3152人の結果でも約30％が中程度以上のうつ症状であることがわかった▼自分で「PHQ―9」をやってみると軽度のうつ症状だった。さらに編集委員10人にもやってもらうと、3割が中程度と評価され、調査と同じ結果となった▼私たち高校生は、日々小テストや課題に追われて辛いと思う時もある。さらに、錦城祭が生徒のみの開催になったり、球技大会が中止になったりして、大人と同じくらいストレスを抱えている。今一度自分に合ったストレス解消法を探して、実践してみてはどうだろうか。（甘）

Classiでも新聞発行！

錦城祭の準備の様子をまとめた錦城祭準備日号、1日目、2日目をそれぞれまとめた特別版をClassiにて発行しました！ぜひご覧ください！

新聞委員会編集部

生徒会動静

9. 2～9. 21

9月14日(火) 修学旅行実行委員会
9月15日(水) 体育学芸委員会
9月18日(土) 球技大会実行委員会
9月21日(火) 修学旅行実行委員会

十人十色の個性光った２日間

2021 錦城祭 PLAY BACK!!

吹奏楽部

演奏方法を工夫して会場を盛り上げる

あなたにとって青春とは？

華麗にポージング

フォトスポットを提供！

文藝部

アンケートを実施

体操部

息の合った演技を披露

パンフ片手に校内を巡ろう！

Colorfulに染め上げろ！

新聞委員会

クイズに答えて景品ＧＥＴ！